



ICTを積極的に活用した授業を実践 ～1学期指導主事訪問～

今年度の校内研修は、『一人一人が主体的に学び、深め合うことのできる児童の育成』をテーマにして、タブレットPCやパソコンなどのICTを積極的に活用した授業を各教科で実践していきます。ICTを授業のどの場面で、どのように使用すれば、子どもたちが主体的に学習し、学びを深めることができるのかを、実践を通して研究します。習熟の程度や興味関心に合った「個別最適な学び」と、発表や意見交流などで学びを深める「協働的な学び」がキーワードです。

5月31日(月)の1学期指導主事訪問では、5つの授業をおこないました。テレビモニターに提示した自作の教材や動画を見て自分の考えを発表する子や、意欲的にタブレットPCを操作する子が、授業の中でたくさん見られました。日々の授業実践を通して、タブレットPCなどのICTを活かしながら、学びを広げ深められる子どもたちを育てていきたいと思えます。



自作教材をテレビモニターに提示して、
視覚的に問題文の意味を掴ませます

1年1組

算数「あわせていくつ ふえるといくつ」

授業者：Y・A 教諭

提示された問題文がたし算の問題であることを判断して、正しく式を立てられることをねらいとした授業です。

ICT活用の場面は、子どもたちが問題文を正確に読み取る手がかりとして、問題に沿った絵をテレビモニターに映したところです。花の本数に目を向けさせるために、その部分を強調する工夫をおこない、たし算の問題文であることを視覚的に捉えさせました。



タブレットPCに保存した画像をもとにして、
五・七・五のリズムで俳句を作ります

4年1組

国語「きせつの言葉 俳句を作ろう」

授業者：Y・Y 教諭

単元のゴールは、それぞれが作った俳句を発表し合う「句会」を催すこととなります。本時のねらいは、季節の言葉を使って俳句を作ることです。

子どもたちは、生活の中で見つけた季節を感じる場面や出来事をタブレットPCで撮影したりイメージマップに記述したりしてきました。その画像やメモを活かしながら、五・七・五の十七音や季語を大切にして、意欲的に俳句作りに取り組んでいました。